



子ども議会だより



令和7年2月4日 第6回 子ども議会 開催

目次

- 事前勉強会 / リハーサル … P2
- 子ども議会開催 / 菜の花党 … P3
- 青森党 / はまなす党 … P4
- 八幡党 / 横浜党 … P5
- なっちゃん党 / 金字党 … P6

令和6年度子ども議会開催

子ども議会は次世代を担う児童に議会の仕組みや、まちづくりに関心を深めてもらうことを目的に開催されています。

今年度の子ども議員は横浜小学校6年生28名です。質問を作成するための勉強会や議場でのリハーサルをおこない、子ども議会本番に臨みました。その様子をご紹介します。



1. 事前勉強会

日時：令和6年12月10日（火曜日）14：00～14：45

横浜小学校で教育委員会指導の下、子ども議会に向けて質問を作成しました。役場の担当課に自ら質問をして情報収集し、質問作りに積極的に取り組む姿が見られました。



2. 子ども議会リハーサル

日時：令和7年1月31日（金曜日）13：50～15：30

リハーサルは、議場で質問する練習をしました。議会事務局長から、入退場は一礼することをはじめ、議長の議事進行に従って質問をする手順を学びました。初めての議場に緊張と戸惑いを見せながらも本番に向けて練習を重ねました。

3. 子ども議会 本会議

日時：令和7年2月4日（火曜日）9：20～11：20



スムーズに議事進行を務めた、子ども議長の沖津智貴くん(左)と副議長の深澤脩哉くん(右)



子ども議員はタブレットを活用、本会議前に資料の確認をしています。

質問は7つのグループに分かれて行いました。各グループ、パネルを使って質問をするなど、分かりやすく伝える工夫が見られました。町長の答弁に対し、子ども議員らは1人ずつ、今回の子ども議会を通しての感想を発表しました。本会議さながらの緊張感のある子ども議会となりました。

《子ども議員の感想》

- ・議会は多くの準備が必要で大変だということが分かりました。
- ・横浜町のことを色々知れて良かったです。横浜町への移住者が増えればいいなと思いました。

三保野公園に子供たちの遊具と大人用の運動器具の新設を！

菜の花党

三國龍生 吉田權吏 鈴木心 對馬希唯

また、大人の運動する器具がありません。そこで子供の遊具と大人の運動器具を設置することを提案します。子供と大人が一緒に遊び、楽しく運動することができますからです。

三保野公園は子供たちが遊んだり、大人が運動したり、横浜町民の憩いの場として大切な場所です。しかし、広いスペースがあるにもかかわらず、遊具が少ないのが現状です。また、大人の運動する器具がありません。そこで子供の遊具と大人の運動器具を設置することを提案します。子供と大人が一緒に遊び、楽しく運動することができますからです。

質問



町長

三保野公園は広いスペースがあるからこそ、それぞれの方々が自由に利用することができます。

今後、どのような遊具が子供と大人と一緒に遊ぶことができるのかも含め検討していきたいと考えております。

また、大人と子供が運動する場としてトレーニングセンターもありますので、ご活用いただければと思います。



物価高騰対策に規格外野菜の販売を！

青森党 新渡優斗 山道一心 工藤真桜 濱谷幸輝

そこで、規格外野菜を安く
 売ることを提案します。
 形などの見た目で捨てられ
 る野菜の量は畑で収穫した野
 菜の20%ですが、味は変わら
 ないそうです。そういう野菜
 を道の駅で安く売ることがで
 きれば、農家も町民も助かり、
 物価高騰対策につながるの
 ではないでしょうか。

質問

横浜町は給付金や生活支援
 など、色々な対策をしていま
 すが、お米、食品、ガソリン
 代が上がり、まだまだ困って
 います。



町長

町では町内での規格外野
 菜等の廃棄を減らすため、
 町の加工センターを活用
 し、加工・販売する6次産
 業化を推進しています。

道の駅で野菜直売所を活
 用し野菜を販売している農
 家は27名、農家の中には規
 格外野菜を安く販売して
 いる方々もいます。

今後も価格がお得な規格
 外野菜として道の駅を中心
 に販売することにより、農
 家の安定した収入確保にも
 つながっていくと考えま
 す。



※6次産業化：1次産業（農村漁業）2次産業（製造業、小売業）3次産業（サービス業）を一体的に推進する取り組み。

母子手帳アプリの導入を！

はまなす党 羽立聖吾 伊藤希夏 高橋由愛 菊地遥希

また、育児日記、写真やメッ
 セージの記録ができ、遠い場
 所にいるおじいさん、おばあ
 さんにも情報提供ができたら
 便利だと思えます。

質問

医療や教育、さまざまに分
 野でデジタル化が進められて
 いる中で母子手帳アプリを導
 入することを提案します。



町長

現在町では母子手帳アプリ
 の導入はしておらず、冊子の
 母子健康手帳を有効的に活用
 していただいています。

母子手帳は妊娠期から乳幼
 児期までに必要な知識が記載
 されていて、雑誌・インター
 ネットで子育てに関する情報
 があふれる中、信頼できる情
 報を提供するツールとしても
 有用となっています。

今後は、母子健康手帳を
 データとして共有する部分と
 紙媒体として残す部分、現段
 階ではどちらも必要と考えま
 す。



海水浴場をきれいにするため、コテージ利用者にごみを拾ってもらおう！

八幡党 橋本龍馬 秋田智紀 猪股愛生 森川恋苺

毎年、小・中学校で海水浴場のごみ拾いをしていいますが減っている様子が見られます。海水浴場のそばには、コテージもあり美しい海を見に来る人もいると思いますが、がっかりしてしまうのではないのでしょうか。

そこで、コテージの利用者にごみ袋を一つ配布し、ごみを拾ってくれたらコテージの料金を500円割引します。そうすることで、コテージの利用者の拡大、海水浴場の環

質問



境整備にもつながると考えます。

町長

小中学校の皆さんには、毎年「ふるさとクリーンウォーク」を実施し、砂浜海岸海水浴場の清掃にご協力いただき、心より感謝申し上げます。大変すばらしいご提案であると思います。これからも皆さんと共に海岸清掃活動等に積極的に取り組むことで町民が望んでいる豊かで美しい海水浴場を守ることができ、コテージ利用客拡大につなげていきたいと思っています。



移住者対策を提案します！

横浜党 千葉巧 鎮守幸太郎 菊地莉名

町の人口は2000年から2025年（令和7年）までに約1500人減っています。このままでは人口減だけでなく少子高齢化が加速します。

そこで、移住者対策を提案します。菜の花フェスティバルで町の魅力をアピールし、移住者に補助金がであることを発信してはどうでしょうか。また「空き家バンク」の利用、空いている畑を移住者へ貸し出してもよいと考えます。これらの内容を動画で発信し、

質問



町の魅力を伝えることで移住を考える人が増え、町の人口増加につながるのではないのでしょうか。

町長

横浜町に移住したいと考えている方々へ引っ越し費用等の支援など、ホームページでは、いろんな情報を掲載しています。東京圏等で行われる移住相談会に参加し、移住へのきっかけづくりも行っています。

また、令和7年度から住居確保、空き家に本格的に取り組んでいく予定です。



菜の花マラソンのゲストラナーを町民が選べるように！

なっちゃん党

鳥浜日向 小川莉空 中山鈴 菊池優那

ゲストラナーを町民が選べるようにすることを提案します。陸上界で一流の人が来ても、子供にとってはあまり知らないことも多く、モチベーションが上がらないことがあります。それよりも、プロ野球選手や芸能人、有名なユーチューバーが参加すると子供達は嬉しいと思います。この

質問

菜の花フェスティバルは町が誇るお祭りの一つです。以前テレビでおなじみの俳優、石原良純さんが来た時は会場全体が盛り上がりました。



町長

ように、大人も子供も知っているゲストが来ると盛り上がり、横浜町への観光客が増えるのではないだろうか。

小学生の皆さんがマラソンに参加し、一生懸命走っている姿は喜ばしいことで心から感謝申し上げます。

今後のゲストラナーの選び方については、皆さんの貴重な提案を参考とさせていただきます、皆さんが選ぶことができるといいですね。今以上に町民の方々に喜んでもらえるフェスティバルの開催に務めていきます。



高齢者のいる家に栄養バランスの取れた食事を！

金字党

鳥山駿 蛭澤陽日人 前田穩空

そこで、お年寄りの方に栄養バランスの取れた食事を提供することを提案します。食事を提供、配達することで、食生活の改善と健康増進を図り、安否確認もできます。食事を作る人・運ぶ人の人材も必要になり、町の人口増加につながります。そうする

質問

町の65歳以上の高齢者の割合は30%を超え、過疎化・少子高齢化が進行しています。また、県では「短命県返上」をアピールしています。



町長

と、みんなが安心して暮らせる住みやすい横浜町になると考えます。

町では町内の事業所に委託して「配食サービス」を実施しています。調理が困難な一人暮らしの高齢者世帯などに、一食500円で栄養バランスのとれた食事を提供し、そこで体調や安否確認も行っています。

今後必要な方に利用していただけるよう、関係機関と連携しながら進めていきたいと考えます。

